

みやりハ通信

2022 Winter

Vol.45

Contents

- ・新年のご挨拶
- ・宮っこチャレンジ(宇都宮市社会体験学習)
- ・国際福祉機器展
- ・福祉車両
- ・認知症予防歳時記
- ・行事食





新年のご挨拶

一般社団法人巨樹の会
宇都宮リハビリテーション病院
院長 三澤 吉雄

2023年の新春を迎え、おめでとうございます。当院は多くの皆様にご利用いただきまして、本年開設12周年目を迎えることができます。今後も当地におきまして、これまで同様に回復期リハビリテーション病院として皆様の健康回復・維持・増進に貢献させて頂きたいと思っております。

回復期リハビリテーション病院は、厚生労働省が定めた病気や怪我で治療中の患者様一人あたりに一日最大3時間のリハビリテーションを土曜日・日曜日・祭日も休まず行うように義務付けられております。一日最大3時間のリハビリテーションを、午前2回午後2回程度に分割して行うことが多く、患者様の疲労の程度によっては時間を短くします。また回復期リハビリテーション病院は患者様の回復具合を数値化して報告する義務があります。当院での治療は患者様の回復が極めて良好と最上位にランク付けされる領域に至っております。病院の技量向上維持には日頃からの研鑽が必須です。現在九州及び関東に御座います25の巨樹の会関係グループ病院では、日頃から情報交換などを通して知識や技術の取得や医療安全の維持に努めております。

入院患者様の病気は多岐に渡ります。当院では、済生会宇都宮病院整形外科・神経内科・内科、NHO栃木医療センター整形外科、獨協医科大学神経内科からそれぞれ医師を毎週半日派遣して頂き、各先生には専門医の立場から関係疾患患者様の診療をお願いしております。

リハビリテーションでは、歩行など移動手段（理学療法）・着替えやトイレ動作（作業療法）・飲み込みや話すこと（嚥下・言語療法）などの向上をそれぞれの専門スタッフが担当いたします。そして、これらのスタッフと医師・看護師・看護補助員・栄養士・薬剤師・社会福祉士・事務職員など各職員が緊密に情報交換しながら、患者様の退院に向けてより良い環境作りをいたします。脳卒中などで、飲み込む（嚥下）ことが困難な方々には、嚥下リハビリテーションを行なっていますが、昨年からは自治医科大学附属病院の耳鼻咽喉科医師の協力を得て、更に嚥下リハビリテーションの充実を計っています。

また、心臓や肺・消化器系など大きな手術後あるいは肺炎で治療を受けられた方など大病後に体力が落ちた患者様の回復を目指したりリハビリテーションにも力を入れており、早期回復のお手伝いをさせていただいております。回復期リハビリテーション病院で対応させていただいております病気などについてご質問がごありの場合には、当院連携室（当院代表電話:028-662-6789）に直接お問い合わせください。

皆様に安心してご利用していただける病院を目指して、今後も職員一同日々精進いたします。本年も宜しく願い申し上げます。NMJ



新年おめでとうございます。

旧年中は、並々ならぬご厚情を
賜り心より御礼申し上げます。

また、当院の新型コロナウイルス感染症対策におきましては、ご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。
本年も、基本理念「手には技術・頭には知識・患者様には愛を」をもとに、地域医療の一翼を担う病院
として、質の高い医療の提供に努めてまいります。引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

事務長 齋藤 弘美

新年明けましておめでとうございます。

そして、広報誌「みやりハ通信」をお読みいただきありがとうございます。

昨年は新型コロナウイルスに対する水際対策が大幅に緩和され、「withコロナ」の新しいライフスタイル
へと動き出しました。

当院でも、オンラインでの面会から、一部対面での面会を再開するなど、少しずつではありますが前に進み
始めています。

さて、皆さまはどんな新年を迎えられましたか。

今年卯年です。卯（うさぎ）は、その跳躍する姿から「飛躍」「向上」を象徴し、また「春の訪れ」「植
物の成長」という意味もあるそうです。

皆さまにとって、目に見えない脅威にさらされた長く寒い冬の時代から温かい春が訪れ、これまでの努力
が花開き実りある年となりますよう、職員一同心より願っております。

私たち看護部も、コロナ禍で身につけた知識や技術・成果をより向上させ、飛躍の年になるようこれから
も努力してまいります。

本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

看護部長 田仲 広美

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

おかげさまで当院も12年目になり、回復期リハビリテーション病院として地域に根付いてきた事を徐々に
実感する中、昨年9月に同法人のグループ病院として、宇都宮市東今泉（鬼怒通り沿い）に240床の
『新宇都宮リハビリテーション病院』が新たに立ち上がりました。

昨年、地域を廻らせて頂いた際に、「宇都宮リハビリテーション病院って場所変わったんでしょ?」といった
お声を頂く事も多くありましたが、当院は御幸ヶ原で変わらず今日も元気に営業しております!!

今年もまずはリハビリテーション科から元気を発信していくと共に、新病院共々、地域に愛される病院とな
れるよう精進して参りますので、本年も何卒よろしく願い申し上げます。

リハビリテーション科課長 青木 克弥

宮っ子チャレンジ(宇都宮市社会体験学習)

11月28日から5日間、市内の中学生3名が体験学習のため来院されました。

コロナ禍の為、患者様との交流はできませんでしたが、病院で働く様々な職種の業務内容、資格、役割などを、見学・体験してもらいました。

3名とも、将来の職業として医療に興味があるようで、有意義な時間が過ごせたようです。病院の仕事体験を通じて、医療を目指す若い世代が今後も増えてくれる事に期待しています。



国際福祉機器展に参加しました!

2022年10月5日～10月7日の3日間、場所は東京ビックサイトにて国際福祉機器展が開催され、リハビリテーション科のスタッフが参加しました。

この国際福祉機器展は日本初の福祉機器の国際展示会であり、いまやアジア最大規模に達しています。今年の開催で第49回目となり、今回は173社の企業や団体が出展し、ハンドメイドの自助具から最先端技術を活用したロボット介護機器まで様々な機器を見学することが出来ました。今後もより多くの方々に関与する福祉用具が誕生することを切に願いながら、リハビリテーションとしても活用していけたらと思います。



福祉車両を導入しました



今回、公用車として福祉車両を導入しました。

こちらの公用車はトランクルームに車椅子のまま乗ることができるようになっています。

こちらの福祉車両を最大限活用して、患者様の在宅復帰に向けて支援していきたいと思っております。



認知症予防歳時記



☆昔のことを思い出してみましよう。

1/1 元旦

卯(うさぎ)は穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」。また、その跳躍する姿から「飛躍」「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。

他にも「植物の成長」という意味もあり、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。



1/7 人日の節句

「五節句」の最初の節句です。春の七草の入った「七草粥」を食べて邪気を払い、1年の豊作と無病息災を祝います。



1/9 成人の日

「大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝いあげます」として成人式が行われます。



1/11 鏡開き

鏡餅を下ろし、お雑煮などに入れて食べることで家内安全を祝います。



1/20 大寒

小寒(2023年は1月6日)から数えて15日目ごろにあたり、1年で1番寒い日とされています。

大寒の日には卵を食べると良い!?

「大寒に生まれた卵を食べると1年を健康に過ごすことができる」と言われています。にわとりは冬の間、エサを多く食べて栄養を蓄えます。寒さで産む卵の数が減るため、卵の栄養価が高く味が濃厚で、健康に良いとされています。

2/3 節分

「鬼は外、福は内」の掛け声とともに、節分の夜に豆をまき、厄払いをして、一年の無病息災を願います。



2/4 立春

暦の上で春が始まる日を指します。禅寺ではこの日、「立春大吉」と書かれたお札を、一年間の厄よけを願って門前に貼り出す風習があります。「立春大吉」は左右対称になっており、表から見ても裏から見ても同じ字に見えるため、縁起が良いといわれています。

2/8 事始め

正月を終え、日常生活が始まる日です。この日には無病息災を祈ってお事汁を食べたり、針仕事の上達を願う「針供養」などを行います。



2/14 バレンタインデー



大切な人に気持ちを伝え、チョコレートを贈る日です。

「女性から男性に」は日本だけ!?

日本では、女性から男性にチョコレートを渡すのが一般的ですが、海外では、男女問わずプレゼントを贈り合うのが一般的です。また海外では、チョコレート以外にも、思いを込めたメッセージカードや花束を互いに贈り合います。

2/23 天皇誕生日

「天皇の誕生日を祝う日」として定められた国民の祝日で、第126代徳仁天皇の誕生を祝う日です。今年で63歳の誕生日を迎えられます。この日には皇居で「一般参賀」が行われ、国民が天皇の誕生日を祝います。

歴代天皇の誕生日は?

令和(天皇陛下)	2月23日
平成(上皇さま)	12月23日(平日)
昭和天皇	4月29日(現在の「昭和の日」)
大正天皇	8月31日(平日)
明治天皇	11月3日(現在の「文化の日」)



行事食

秋の和定食



メニュー

- 帆立のおこわ
- 葱のくず汁
- 秋鮭のきのこソース
- 豆乳茶碗蒸し
- 梨のはちみつ煮

栄養科からのコメント

11月の行事食は、厨房調理師考案メニュー「秋の和定食」を提供しました。秋鮭にたっぷりのきのこや梨など、季節の食材を多く取り入れました。銀杏に型抜きした人参やもみじ麩も使用し、見た目からも秋を感じていただけるよう工夫しました。全体的に優しい味付けにし、食材の味を楽しんでいただける献立となりました。

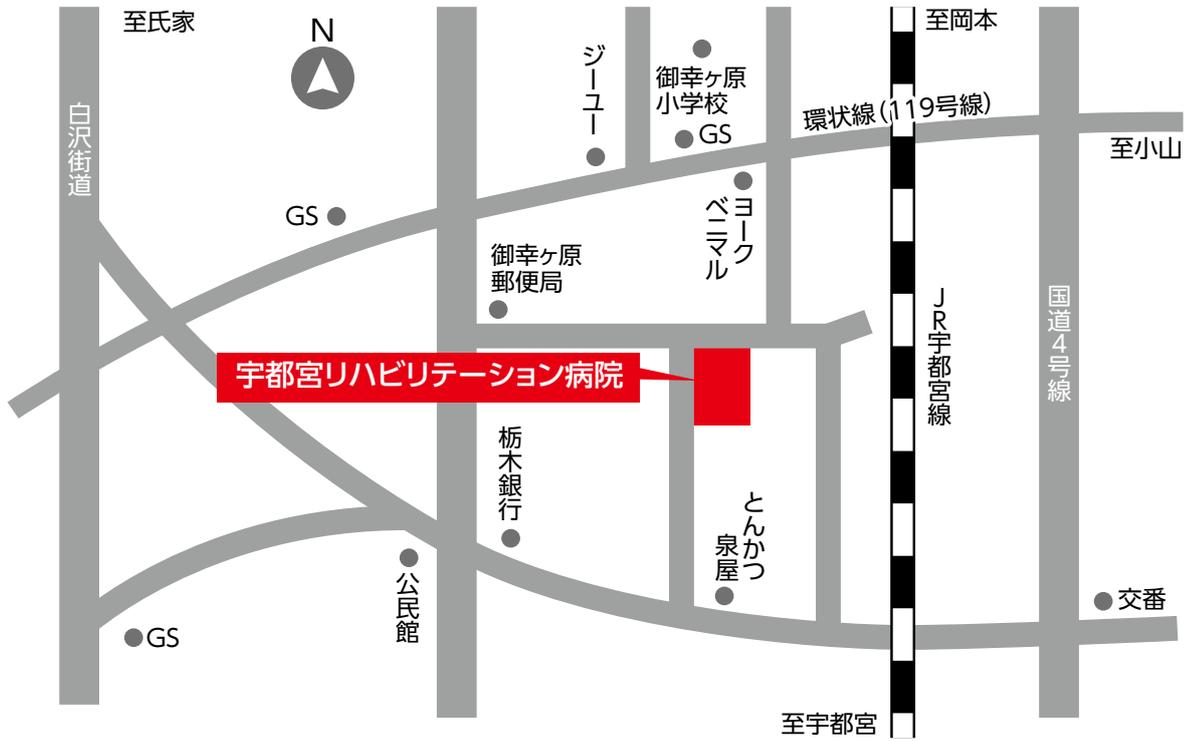
今後もリハビリ入院中の楽しみの一つとして、患者様に喜んでいただけるお食事を提供できるよう努めて参ります。

栄養科 職員一同



患者様からの声

- ・ 季節を感じるメニューだった。
- ・ 茶碗蒸しや汁物にはイチヨウやもみじの形をした食材が入っており秋らしかった。
- ・ 帆立のおこわは味付けがちょうど良かった。
- ・ 梨のはちみつ煮は初めて食べた。甘くておいしかった。



宇都宮リハビリテーション病院 交通のご案内

電車でのご来院

- JR宇都宮駅から車で約15分
- JR岡本駅から車で約5分

バスでのご来院

- 関東バス
JR宇都宮駅東口 岡本駅西口行に乗り 宇都宮リハビリテーション病院前で下車(0分)
JR岡本駅西口 宇都宮駅東口行に乗り 宇都宮リハビリテーション病院前で下車(0分)

宇都宮で10年以上の実績があるリハビリ専門病院

宇都宮リハビリテーション病院

クリック!!



〒321-0982 栃木県宇都宮市御幸ヶ原町43-2 TEL:028-662-6789

宇都宮リハビリテーション病院 広報誌



2022 Winter Vol.45 (令和4年12月発行)

企画発行

宇都宮リハビリテーション病院 広報委員会

〒321-0982 栃木県宇都宮市御幸ヶ原町43-2
TEL:028-662-6789(代表) FAX:028-660-1041